

(様式第2号)

令和 5年 12月 6日

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県大館市片山町3丁目1-56
名称 特定非営利活動法人工房JOYさあくる
代表者 理事長 鈴木 千里

特定非営利活動法人工房JOYさあくる

は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

すべての障がい者に社会参加の場を提供することを目標とします。
当施設の自主事業は環境に配慮したものとする事を目指します。

3側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R3年11月19日</small>	関連する主な SDGsゴール (最大3つ)
<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	リサイクル製品の積極的活用、意欲的にリサイクル製品の開発に注力します。	リサイクル製品をはじめ、環境に配慮した商品の開発に努力します。	廃木材を使った新商品を開発中です。 (2021→2023)	3・6・7
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	障がい者が地域の中で、健康的で安心して社会参加できる場を作りたいと思います。	私たちの施設の利用を通じ、障がい者の自立が進むことに努力します。	施設の利用を通じ、積極的に社会参加出来るよう支援しています。 (2021→2023)	7・12・13
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	自主事業の柱をエコに置きたいと考えます。環境に優しい製品を開発し、施設利用者の工賃を向上させることに努力します。	現在取り組んでいる事業を一層環境に配慮したものとし、地域の中でより多くの方々に利用していただくことに努力します。	イベントへの参加やHPのリニューアルで、リサイクル事業を知ってもらい販売量の増加を目指します。 (2021→2023)	16・17

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	